

簡易な水路目地補修作業の手引き

(要約版 ・ 取水装置)



鳥取県農林総合研究所農業試験場

1 取水口の補修のながれ・準備する器材等

作業のながれや作業に必要な器材等は水路目地補修と同じです。

2 水路目地補修の作業方法

【取水装置の取り外し】

使用する器材：ハンマー、タガネ

取水装置を取り外す際、装置を再利用する場合は壊さないよう注意してください。

取り外しの際、取水装置が破損したときは、JA資材店、ホームセンター等で販売されています。口径を確認したうえで購入してください。



【清掃】

使用する器材：ハンマー、タガネ、ブラシ

古いモルタルを剥がし、表面をきれいに清掃します。

表面が汚れているとモルタルの接着力が弱くなりますので、しっかりと清掃してください。



【装置取付土台の位置決め】

使用する器材：チョーク、布テープ

取水装置を取り付ける土台を作成する位置を決め、取り付ける位置をチョークで印を付けます。

布テープを貼り、土台を設置する範囲の目印とします。



【プライマーの塗布】

使用する器材：プライマー、水、カップ(プライマーを入れる容器)、はけ

プライマーを調整(プライマー:水 1:1)し、モルタルを塗る部分にプライマーを塗布します。



【土台となるモルタルを練る】

使用する器材：セメント、砂、プライマー、水、洗面器(モルタルを練る容器)、スコップ

セメントに砂を加え(セメント:砂 1:1)、空練りします。
均等に混ぜてから練水(プライマー:水 1:4)を少しずつ加え、硬めに練りあげます。



【下地づくり】

使用する器材：コテ

装置の土台となる部分にモルタルを塗り、水路と管の隙間も塞いで下地調整を行います。
水路と管の間も経年劣化で隙間が空いている場合もあるので、モルタルを充填します。
下地処理がきちんと行われていないと漏水の原因となりますのでしっかりと行ってください。
次の作業(取水装置の取付)は、モルタルが硬化するまで半日程度おいてください。
ただし、布テープはモルタルが硬化するまでに取ってください。



【取水装置の取り付け】

使用する器材：接着剤(混合して使用するタイプとそのまま使用するタイプがあります。)
ヘラ、さん木、金づち

土台に接着材を塗り、取水装置を取り付けます。
特に管周辺は接着剤の塗り残しがないように注意してください。
取水装置を取り付けた後は、さん木で半日程度固定してください。

